※令和４年度以降入学生用

学校番号	325

令和８年度　理科

教科	理科	科目	化学演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	副読本等を使用予定						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

化学基礎や化学で学習する現象について、観察、実験や例題演習などを行い、さらに探究する能力と態度を養う。また数学の知識も活用し、現象を数式化させようとする能力を育てる。特に化学平衡の概念を数値化することが近代化学工業では重要であることに気づかせる。このような取組を通して、科学的な考え方を習得させる。

2　学習の到達目標

知識・技能においては、これまでの化学基礎・化学の内容を体系的に理解し、事象や現象の数値化、化学反応式で表現できるようになる。思考力・判断力・表現力などの面においては、化学基礎・化学の内容について適切な手法を選択するなど、問題を解決しようとする力を養う。
主体的に学習に取り組み態度においては、さらに探究する能力と態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	化学基礎・化学の内容を体系的に理解するとともに、事象を数値化したり、化学手に解釈したり、化学式で表現する技能を身に付ける。	化学基礎・化学の内容について、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決し、解決の過程や結果を批判的に考察し判断できる力を養う。	化学が日常生活に与える恩恵を理解し、化学を活用しようとする態度、論理的思考に基づいて判断しようとする態度、実験結果を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や基礎を養う。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	化学基礎の内容	化学基礎 ・物質の成分と構成元素 ・原子の構成と周期表 ・化学結合 ・物質量と濃度 ・化学変化と反応式 ・酸と塩基、イオン濃度 ・中和と塩 ・酸化還元反応	a: 様々な問題を解くのに必要な計算方法や変形に慣れさせる。 b: 記述の仕方を中心に演習を通して、基礎となる表現能力を高める。 c: レポート、演習によって、意欲関心を図り,定期考査によって化学的な力や知識理解をはかる。	確認テスト 定期テスト	確認テスト 定期テスト	課題 観察等
2学期	化学の内容	化学 ・物質の状態 ・物質の変化と平衡 ・無機物質 ・有機化合物 ・高分子化合物	a:１学期のもとに、新たな分野の知識理解を深める。自宅学習などが出来るように、演習を進める。 b: 記述の仕方を中心に演習を通して、基礎となる表現能力を高める。 c: レポート、演習によって、意欲関心を図り,定期考査によって化学的な力や知識理解をはかる。	確認テスト 定期テスト	確認テスト 定期テスト	課題 観察等
3学期	総合問題	入試の過去問題の演習 実験レポート課題	a:演習を中心に授業を展開する。レポートについては記述を中心に表現力がついているかの確認が出来るようにする。 b:記述の仕方を中心に演習を通して、基礎となる表現能力を高める。 c:実験、レポート、演習によって、意欲関心を図り,定期考査によって化学的な力や知識理解をはかる。	確認テスト 定期テスト	確認テスト 定期テスト	課題 観察等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度